

久御山町町制施行 70 周年記念 まちづくりプラン会議 ～久御山町の未来を考える町民 Talk～ 結果概要

1 目的

久御山町第 6 次総合計画策定調査の一環として、住民や事業者など幅広い層から、まちづくり全般について自由な発想に基づいた意見をいただくため設置。

2 委員

20 名の委員をもって組織し、一般公募等による住民と、事業者及び各種団体の推薦者や京都文教大学 KminK、町職員（町内在住）から構成。

- ① 一般公募等による住民
応募要件：町内在住の 18 歳以上 65 歳未満の人
募集期間：令和 6 年 9 月 1 日～9 月 11 日
募集方法：広報誌、町ホームページ、公共施設にある申し込み用紙で募集

② 事業者・各種団体からの推薦者等
商工会や民生児童委員協議会などの団体からの推薦。
また、京都文教大学 KminK の学生、町職員（町内在住）を委員として選出。

3 開催日・テーマ等

	第 1 回	第 2 回	第 3 回
日程	令和 6 年 11 月 30 日	令和 6 年 12 月 22 日	令和 7 年 1 月 25 日
目的	町の魅力や課題抽出	「まちの将来像」と想 い	主体的に行動できる こと
テーマ	くみやまのよいところ とイマイチなところ	くみやまで描きたい 「まちの将来像」	町の将来像の実現の ために自分たちで できること

※ 第 3 回目では、久御山町で描きたい次の 10 年のキャッチフレーズ案と、込めた想いについてプレゼンテーションを実施。



4 久御山町で描きたい次の10年のキャッチコピー案

グループA

**「あったかいきずな 住みやすいまち
－自分らしく いきいきと輝く 次世代に誇れる 久御山－」**

【込めた想い】

“あったかいきずな 住みやすいまち”…「人と人のつながり」「きずな」など、まちの団結力・結束力を高めて豊かなまちを目指していこうという想い。

“自分らしく いきいきと輝く”…「多様性・多文化」「夢を叶える」「キラキラ輝く」といった、団結力だけではなく、個人の幸福感も高めたい。

“次世代に誇れる 久御山”…「にぎわい、発展」「ブランド力を高める」ことで久御山の価値を向上させる。



グループB

**「みんなでつくる明日の光 広がる笑顔 豊かな久御山
～にぎわい人いっぱい愛され親しまれるまち～」**

【込めた想い】

“みんなでつくる明日の光”…この町に関わる皆が連携して、自分事として主体的に捉え町の未来をつくる。そうすることで町が持続的に発展していく将来への希望を込めている。

“広がる笑顔”…全ての関わる人が手を取り合って取り組んでいくことでつながりの輪が広がる、笑顔が連鎖していく想いを込めている。

“豊かな久御山”…経済的な基盤を整えることで生活環境が充実する。そうした基盤の上に「幸せなまち」が成り立っている。そうした町であってほしい。

“にぎわい人いっぱい愛され親しまれるまち”…住民だけでなく、企業や町外からの通勤・通学者も含めた全ての人が「良いまち」として久御山に親しみを感じ、愛されるまちになってほしいという想い。



グループC

「笑顔あふれる“ひと”と“もの”がつながる豊かなまち久御山」

【込めた想い】

“笑顔あふれる”…笑顔がない町には将来（未来）はない。笑顔があつてこそ、まちは発展していくという想い。

““ひと”と“もの”がつながる”…ひと = 住民・町外の人・外国人、もの = 農工商工業・ジャンクション。すべてがつながって欲しい想いを込めている。

“豊かなまち久御山”…身も心も経済も、全てが豊かになることで「良いまち」がしてくれるのでは、という想いを込めた。



グループD

「誇りを持ち夢を実現できる日本一住みたい町 久御山」

【込めた想い】

“誇りを持ち”…「久御山といえばコレ！」という人から憧れられるようなものの、自分たちも魅力を感じられるようなまちをつくりたい考えを込めた。

“夢を実現できる”…夢を叶えられるまち、夢に向かってチャレンジできる、教育も含めてそのサポートが充実したまちになれば良いという想いを込めた。

“日本一住みたい町 久御山”…「日本一住みたい町」にインパクトを持たせた。活気があふれている、いつか住んでみたい、（転出しても）また戻ってきたい、ずっと住み続けたいと思うまちを目指したい。

